

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: デイリープログラム SP
会社名	: 共立製薬株式会社
住所	: 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-11-5
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-3264-7196
FAX 番号	: 03-3263-2938
メールアドレス	: hinshitsu@kyoritsuseiyaku.com

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
物理化学的危険性	
引火性固体	: 区分外
自然発火性固体	: 区分外
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 区分 5
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 区分 2
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分 2
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分 2
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: 区分 2（呼吸器、消化管、神経系、血液系、 肝臓、腎臓）
特定標的臓器毒性、反復ばく露	: 区分 2（呼吸器、消化管、神経系）
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	: 区分 3
水生環境慢性有害性	: 区分 3
絵表示またはシンボル	



注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 飲み込むと有害のおそれ : 皮膚刺激 : 強い眼刺激 : 遺伝性疾患のおそれの疑い : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い : 臓器の障害のおそれ（呼吸器、消化管、神経系、血液系、肝臓、腎臓） : 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器、消化管、神経系） : 水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。

取扱い後は、手をよく洗うこと。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
必要に応じて医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。皮膚刺激
または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用の場合、
容易に外せる場合は外し洗浄する。必要に応じて医師の診断、
手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の診断、手当
てを受けること。

【保管】

直射日光を避け、密閉容器に保管すること。

【廃棄】

都道府県又は市町村条例等に従い処分すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分名	含有量(W/W%)
ビタミン A	非開示
ビタミン D ₃	
ビタミン E	
硫酸マンガン	
ペプチド亜鉛	
ペプチド銅	
硫酸銅	
硫酸コバルト	
硫酸亜鉛	
ヨウ素酸カルシウム	
賦形剤等	残

労働安全衛生法：名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（含量に基づく対象成分のみ記載）

硫酸銅及びペプチド銅（別表第9の379）、硫酸マンガン（別表第9の550）

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合	: 直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受ける。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用の場合、容易に外せる場合は外し洗浄する。必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 燃焼により有害ガスを発生する恐れがあるので、注意する。 消火活動は風上から行う。 周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
適切な消火剤	: 水、泡、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	: 特に情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 回収、中和	: 飛散したものは、掃き集めて空容器に回収する。漏洩した場所は、多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項 技術的対策	: 皮膚に付けないように適切な保護具を着用する。
注意事項	: 開封後はなるべく早めに使用する。
保管上の注意事項 保管条件	: 直射日光を避けて密閉容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
管理濃度	: データなし
許容濃度	: データなし
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスクを着用する。必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護具	: 保護手袋を着用する。必要に応じて耐溶剤性手袋を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡を着用する。必要に応じてゴーグル型または保護面等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

特に記載すべき情報はない。

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の取扱いでは安定である。
危険有害分解生成物	: 二酸化炭素、一酸化炭素
避けるべき条件	: 特に情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: ビタミン及びミネラル成分中には、区分2～区分4相当の成分があるが、含量に基づく加算式により、製剤としては、区分5とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: ミネラル成分について区分1相当の成分があるが、含有量に基づき、製剤としては、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: ミネラル成分について区分1相当の成分があるが、含有量に基づき、製剤としては、区分2とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: ミネラル成分について区分1相当の成分があるが、含有量に基づき、製剤としては、区分外とした。
生殖細胞変異原性	: 硫酸マンガンは区分2相当の報告があることから、製剤としても区分2とした。
発がん性	: データ不足のため分類できないとした。
生殖毒性	: ビタミン及びミネラル成分中には、区分2相当の成分があり、含有量に基づき、製剤としても区分2とした。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: ミネラル成分について区分1相当の成分があるが、含有量に基づき、製剤としては、区分2とした。

特定標的臓器毒性、反復ばく露	: ミネラル成分について区分 1 相当の成分があるが、含有量に基づき、製剤としては、区分 2 とした。
----------------	---

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: 硫酸銅は急性、慢性共に区分 1 の報告があるが、含有量に基づき、製剤としては、いずれも区分 3 とした。
水生環境慢性有害性	

13. 廃棄上の注意

廃棄する場合には、都道府県又は市町村条例等に従い処分すること。

14. 輸送上の注意

容器が転倒、落下、破損しないように充分注意するとともに、輸送前に破損や漏出がない事を確認する。

15. 適用法令

飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律	: 乳牛用ミネラル・ビタミン入り混合飼料 A 飼料
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（含量に基づく対象のみ記載） 硫酸銅及びペプチド銅（別表第 9 の 379） 硫酸マンガン（別表第 9 の 550） : 特定化学物質第 2 類物質 硫酸マンガン
消防法	: 非該当
化学物質排出把握管理法	: 第一種指定化学物質 （含量に基づく対象のみ記載） 硫酸亜鉛（1-1） 硫酸マンガン（1-412）

16. その他の情報

引用文献

- ・ 自社データ
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果
 - ・ 安全衛生情報、GHS 対応 モデル SDS 情報
-